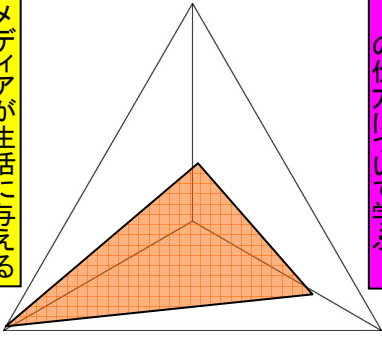


パッケージ名	折れ線グラフのひみつをさぐる(小学校4年生)
実践のねらい	メディアの中で効果的に用いられている折れ線グラフを用いて、情報を発信したり、分析したりすることによりについて考え、その影響について考えることができる。
この実践のメディアコンメン 影響について学ぶ	メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ  メディアが生活に与える影響について学ぶ
	実践の意図 ○想定される児童の実態 ・広告やポスター、新聞などでは、視聴者の販売意欲や意識を変容させるような工夫をしている。その一つとして、グラフが挙げられる。 ・4年生では、折れ線グラフの学習をする。この機会に、メディアの中で用いられるグラフのもつ意味について考えさせたい。 ○パッケージの目標 ・グラフが受け手に与える影響を考えることで、メディアの中で用いられた場合の、グラフの読み取り方や判断力を培う。 ○留意点 ・算数科での、折れ線グラフの特性の一つである、縦軸と横軸の相関性の学習をこの実践では生かす。 ・正しいデータ、架空のデータを用いたグラフを用いた広告等を作成することにより、身の周りのメディアの中に潜む影の部分についても考えさせるようにする。

受 = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る
 送 = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

グラフの効果的な活用法を体験する PART1 (20分)

○ **正しいデータをもとにしたグラフを用いて、ポスターをつくりましょう**

送 忘れ物調べや、欠席状況など正しいデータを用いて、折れ線グラフを作成する。その際、算数で学習した、縦軸と横軸の相関性を想起して、グラフの表し方を工夫し、効果的なポスターができるように助言する。

データ
 ポスター用の用紙
 (あらかじめポスターのレイアウトは決めておく)
 ※1グループ4人程度

グラフの効果的な活用法を体験する PART2 (20分)

○ **グラフを用いた販売広告をつくりましょう**

送 架空の製品を販売するという設定をし、販売の対象(例えば、小学生ぐらいの子ども、大人の女性、老人など)を決定して、広告を作成する。その際、どのようなグラフを用いると購買意欲が増すか十分に考えさせるようにする。

広告用の紙

作成した広告を用いて商品宣伝をする (25分)

○ **商品宣伝をしよう**

送 折れ線グラフを効果的につかって、商品を宣伝しよう。その際、「この折れ線グラフのように急激に体重が減少します」など、グラフを中心にした商品宣伝になるようにする。

○ **広告を評価しよう**

受 広告をみて、買いたいか買いたくないか・その理由について記述(口頭で発表でもよい)し、折れ線グラフの与える影響や送り手と受け手の中に生じるギャップについても考えさせようにする。

評価用の紙

広告をみたときどのようなことに気をつければよいか話し合おう (25分)

受 **メディアの受け手として、どんなことに気をつければよいか話し合う**

送り手と受け手両方の体験をする活動を通して、気づいたことなどを振り返りながら広告やポスター等とどうつきあっていけばよいか話し合う。

作成したポスターや広告
 評価用紙等